

# 医用画像システム部会成果報告会 新IMIT-WG(新画像医療IT産業推進)

- SWG1: 医療用ソフトウェアの取扱い
- SWG3: 医療情報の利活用

一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA)  
システム部会 新IMIT-WG 主査 土居篤博

## SWG1: 医療用ソフトウェアの取扱い

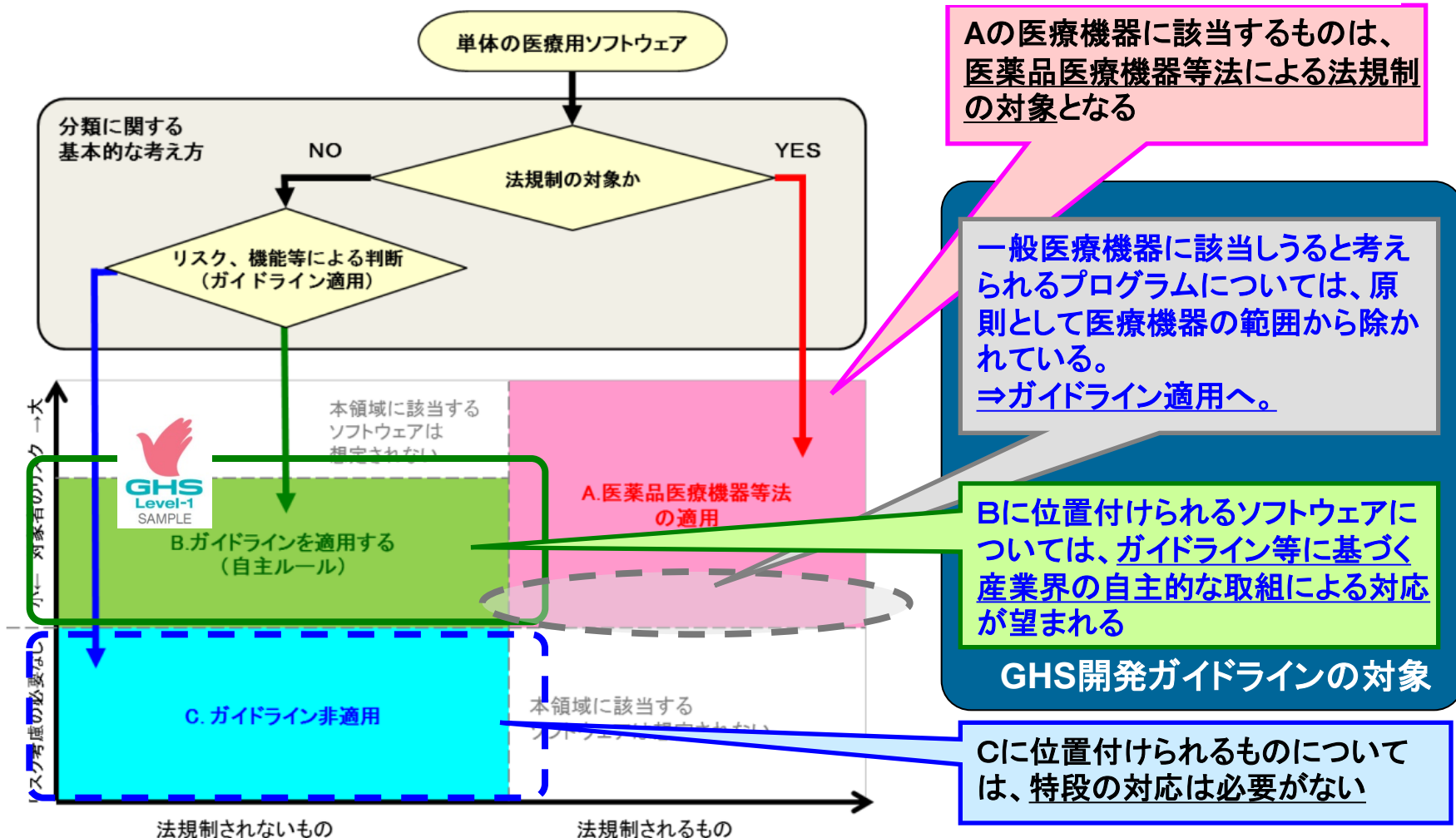
- GHSの活動状況
- GHSの登録状況

## SWG3: 医療情報の利活用

- 課題概要
- セキュリティ
- 改正個人情報保護法関連
- 医療情報データベース
- AI

# 医療用ソフトウェアの取扱い

## 【単体の医療用ソフトウェアとガイドライン等の適用分類：法規制の対象と対象外】



# GHS: 活動内容



**GHS開発ガイドライン・適合判定チェックリスト等の制定及び改定**

**GHS開発ガイドラインの普及活動・教育活動**

**GHS開発ガイドラインに適合した製品の公表制度**

国際標準に準拠したガイドラインを使って開発

医療機器製造業者 (薬事申請経験あり)

法規制対象の医療機器

ISO 13485  
ISO 14971  
IEC 62304

ヘルスケア業界新規参入企業 (薬事申請経験なし)

法規制対象外のヘルスソフトウェア

Level-3  
Level-2  
Level-1

トレーニング講座を利用してステップアップ

適合宣言書の登録・GHSマークの製品表示

# GHS: 発足経緯

## 医療機器開発ガイドライン（手引き）の策定

### 医療機器開発ガイドライン（手引き）

開発の際に考慮すべき工学的評価基準等を作成。

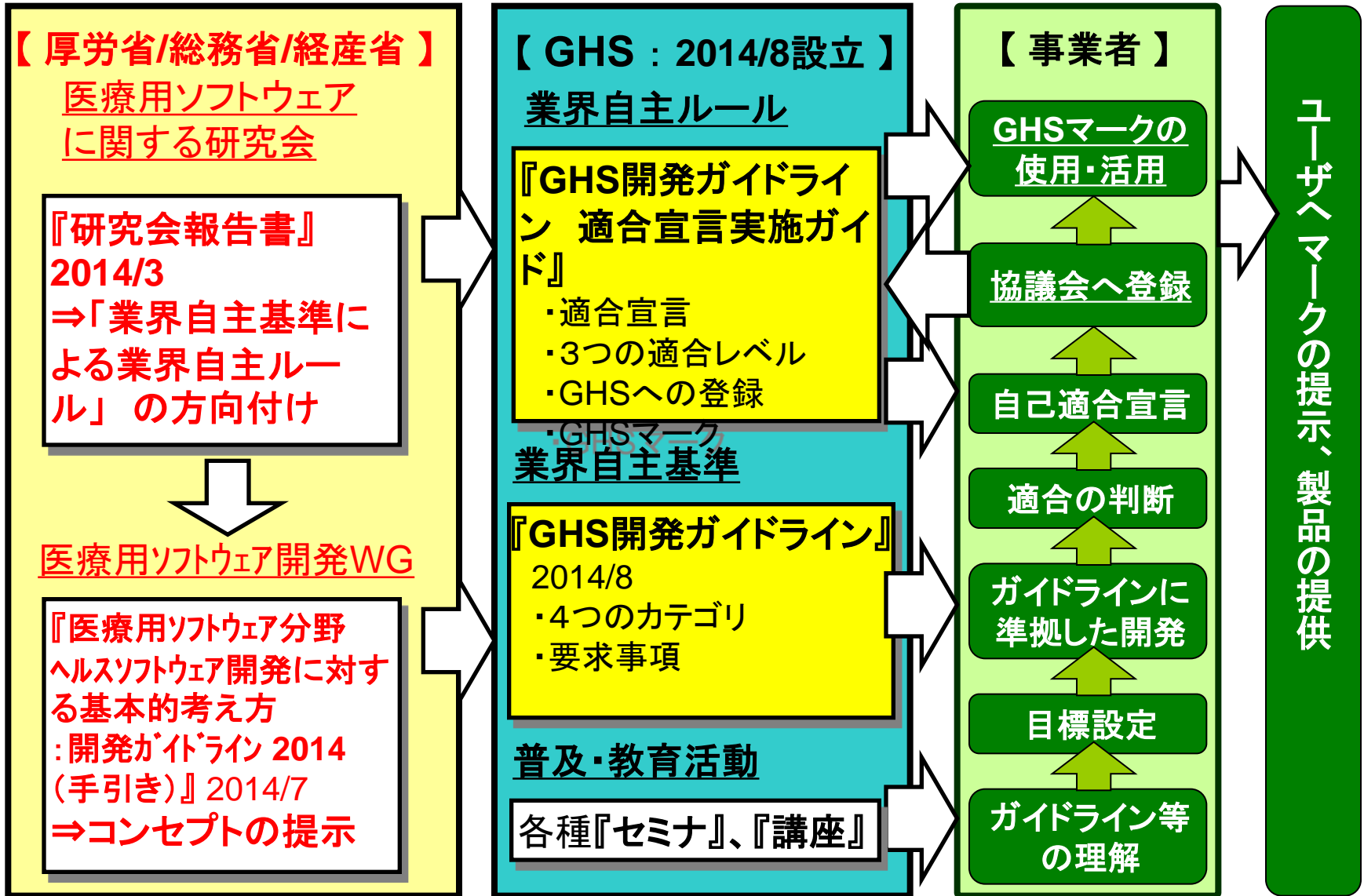
連携

### 次世代医療機器評価指標

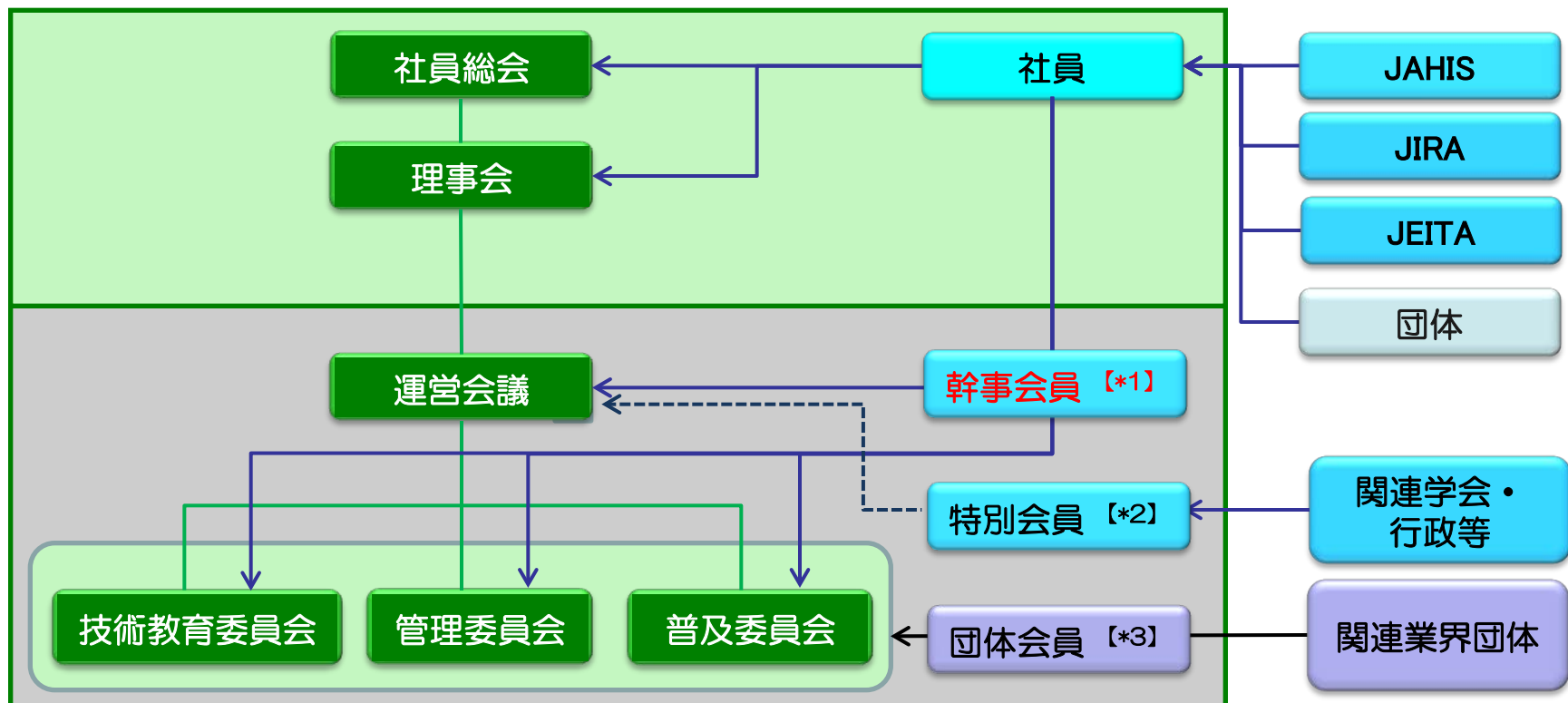
審査時に用いる評価指標をレギュラトリーサイエンスに基づいて作成。

医療機器開発ガイドライン（手引き） 【経済産業省】 31件	次世代医療機器評価指標 【厚生労働省】 25件
<p>（主なガイドライン）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 高機能人工心臓システム開発ガイドライン</li><li>○ DNAチップ開発ガイドライン</li><li>○ <b>ヘルスソフトウェア開発に関する基本的考え方（手引き）</b></li><li>○ ロボット技術を用いた活動機能回復装置開発ガイドライン（手引き）</li><li>○ 高生体適合性（カスタムメイド）脊椎インプラントの開発ガイドライン（手引き）</li></ul>	<p>（主な評価指標）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 次世代型高機能人工心臓の臨床評価のための評価指標</li><li>○ DNAチップを用いた遺伝子型判定用診断薬に関する評価指標</li><li>○ 自己iPS細胞由来網膜色素上皮細胞に関する評価指標</li><li>○ 活動機能回復装置に関する評価指標</li><li>○ 可動性及び安定性を維持する脊椎インプラントに関する評価指標</li></ul>

# GHS:位置づけ、および登録の流れ



# GHS: 運営体制



## 【\* 1】 幹事会員

- ・ JAHIS :  
一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
- ・ JIRA :  
一般社団法人 日本画像医療システム工業会
- ・ JEITA :  
一般社団法人 電子情報技術産業協会

## 【\* 2】 特別会員

- ・ 一般社団法人 臨床医工情報学コンソーシアム関西

## 【\* 3】 団体会員

- ・ パーソナル・コネクテッド・ヘルス・アライアンス (PCHA)  
日本地域委員会
- ・ 一般社団法人 インターホン工業会

# GHS: 開発ガイドラインと今後

## 開発ガイドラインの4つのカテゴリと参考規格

カテゴリ	推奨される要求事項	参考になる国際規格
品質マネジメント	- 設計・開発プロセス	ISO 9001:2008 (JIS Q 9001:2008) 品質マネジメントシステム—要求事項
リスクマネジメント	- リスク分析 - リスク評価 - リスクコントロール - 残留リスク評価 - 開発段階及び市販後情報 <small>注記</small> の管理	ISO 14971:2007 (JIS T 14971:2012) 医療機器—リスクマネジメントの医療機器への適用
ヘルスソフトウェアの製品安全	- ユーザー要求分析及び定義 - ソフトウェアバリデーション - ソフトウェアの識別及び関連文書作成 - 市販後の考慮	IEC 82304-1 CD Health software -- Part 1: General requirements for product safety
ソフトウェアライフサイクルプロセス	- ソフトウェア開発計画 - ソフトウェア要求分析 - ソフトウェア構成管理プロセス	IEC 62304:2006 (JIS T 2304:2012) 医療機器ソフトウェア—ソフトウェアライフサイクルプロセス

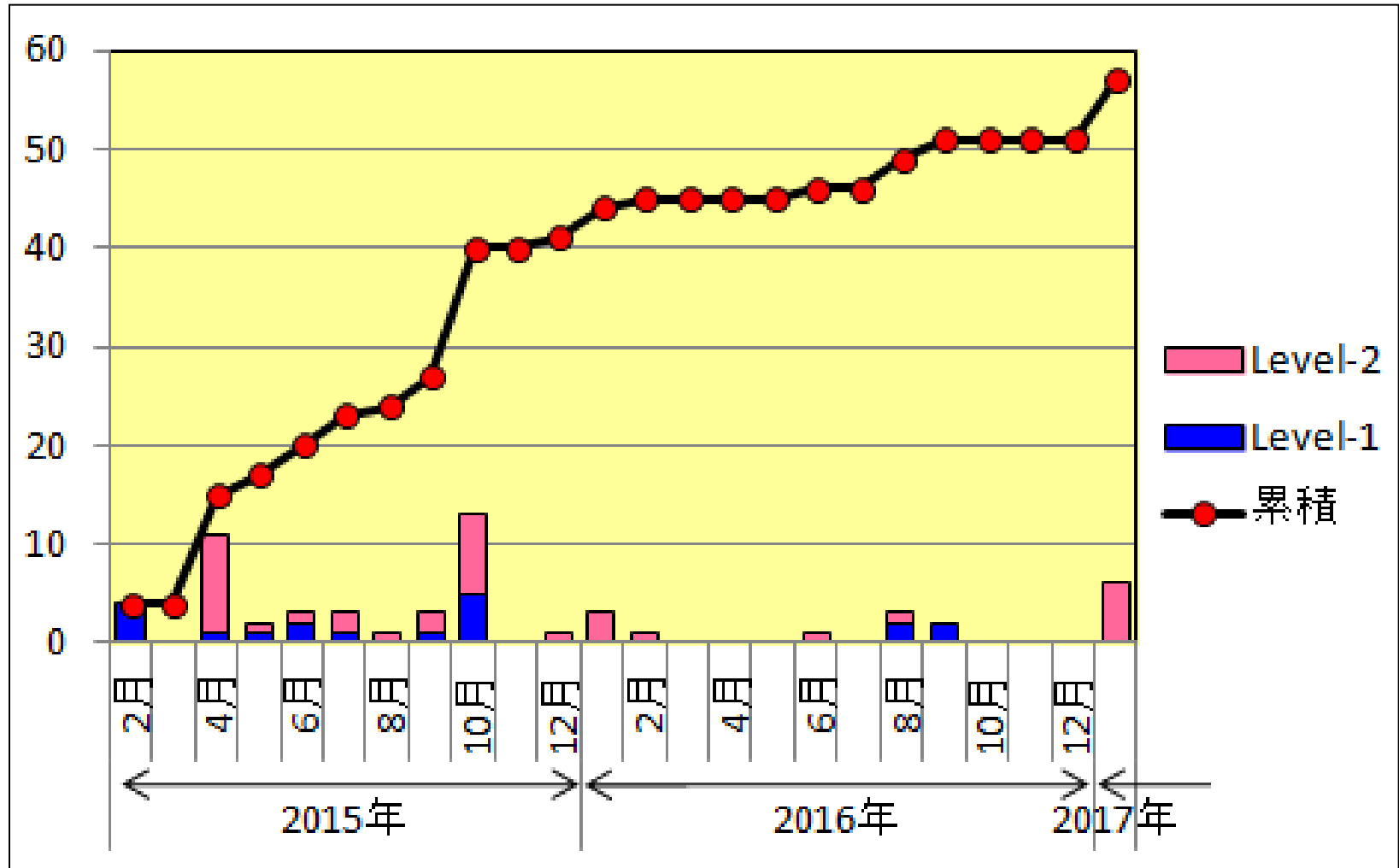
- 今後の課題**
- ・ISO 9001:2015 への対応
  - ・IEC 82304-1 (IS) への対応 ⇒ 解説セミナー開催(6/19)



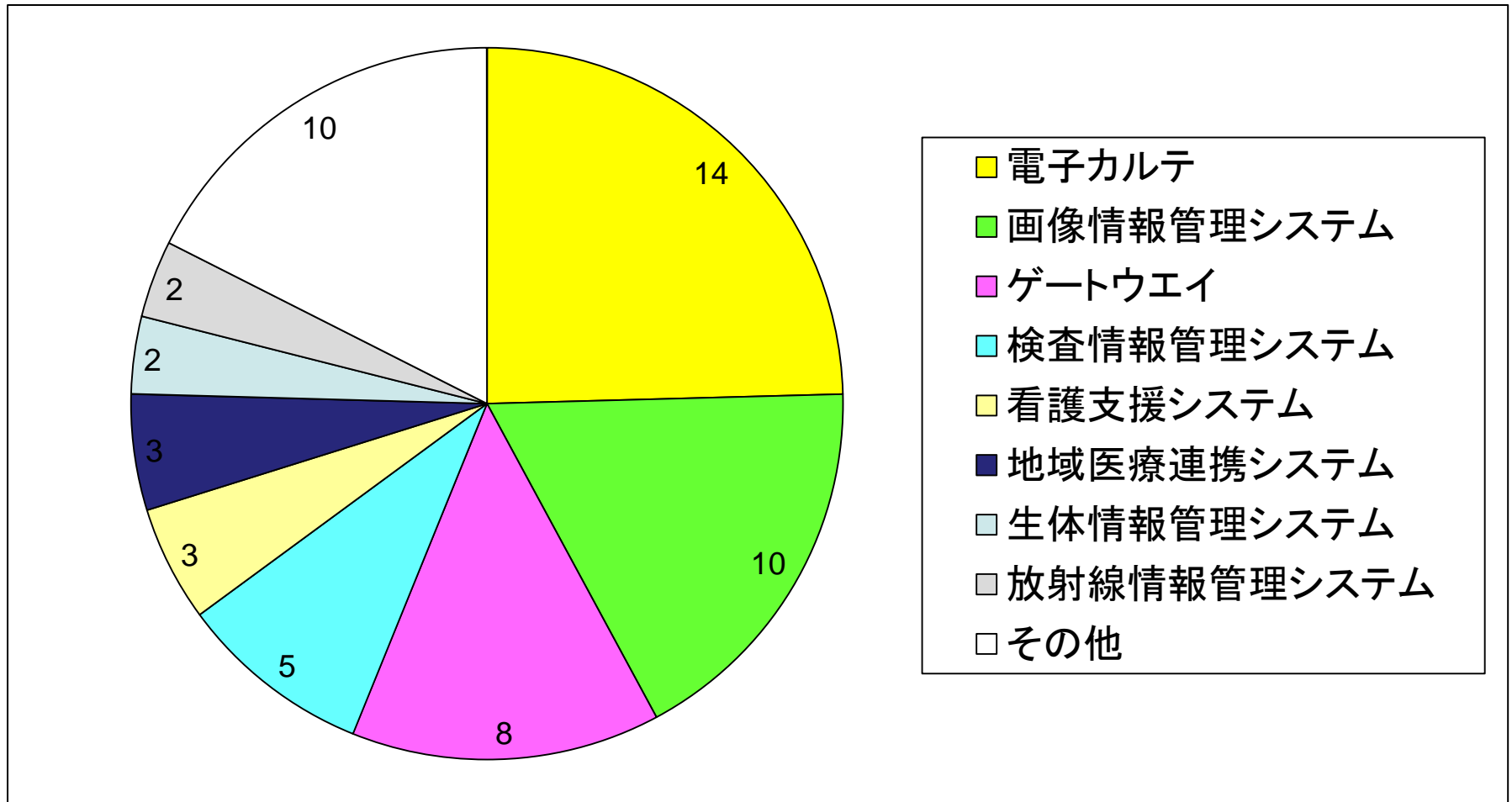
# GHS:登録状況

## GHS適合宣言登録件数推移

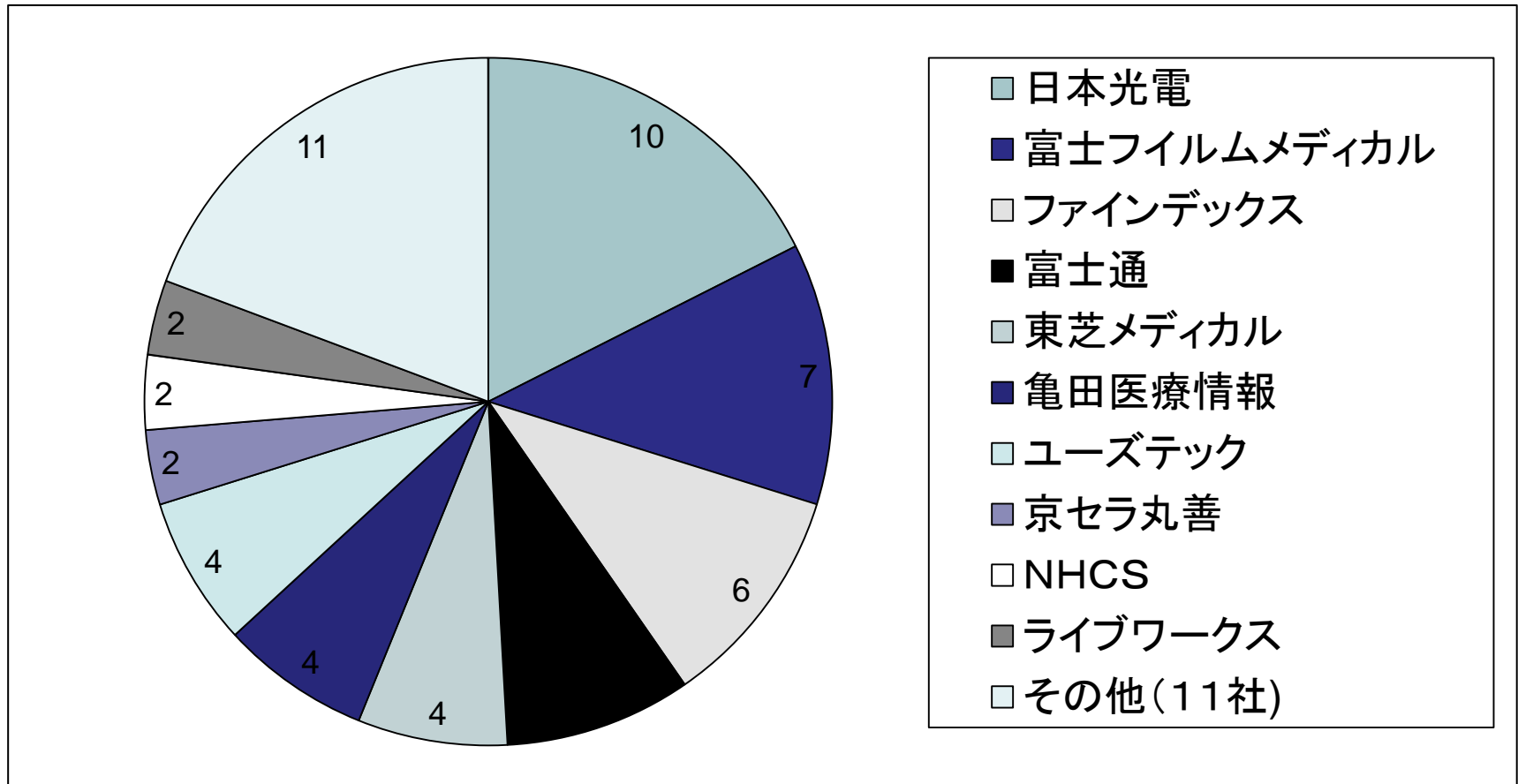
件数



## GHSマークの製品カテゴリー別登録件数



## GHSマークのメーカー別登録件数



# GHS:登録製品(1/3)

No	適合 Level	登録番号	登録日	製品名	会社名
1	1	G1500011	'15-02-19	Kai V3	亀田医療情報(株)
2	1	G1500021	'15-02-19	PDI	亀田医療情報(株)
3	1	G1500031	'15-02-19	アピウス【エクリュ】	亀田医療情報(株)
4	1	G1500041	'15-02-19	アピウス【プシュケ】	亀田医療情報(株)
5	1	G1500051	'15-05-27	Medical Vision Web電子カルテ Ecru	JBCC(株)
6	1	G1500061	'15-04-14	MEDIC DIET	京セラ丸善システムインテグレーション(株)
7	1	G1500201	'15-06-09	NameCheckerDisplay	(株)ユーズテック
8	1	G1500221	'15-06-25	いびきチェック ZooZii(ズージー)	(株)アニモ
9	1	G1500241	'15-07-15	QR-MWMゲートウェイ	(株)ユーズテック
10	1	G1500291	'15-04-14	テレナケア ストーマ プロ(タブレット版)	越屋メディカルケア(株)
11	1	G1500301	'15-10-02	医療用データマネジメントシステム Claio3	(株)ファインデックス
12	1	G1500311	'15-10-02	医療用データマネジメントシステム Claio4	(株)ファインデックス
13	1	G1500331	'15-10-02	視野統合ビューア C-Peri	(株)ファインデックス
14	1	G1500411	'15-10-21	メディアインポータ装置	(株)ユーズテック
15	1	G1500421	'15-10-21	過去画像コンバートツール	(株)ユーズテック
16	1	G1600061	'16-08-05	NHCS【CaseBank】	(株)NHCS
17	1	G1600071	'16-08-05	NHCS【HomeBank】	(株)NHCS
18	1	G1600091	'16-09-20	放射線部門システム ProRad RIS	(株)ファインデックス
19	1	G1600101	'16-09-20	放射線レポートシステム ProRad RS	(株)ファインデックス

# GHS:登録製品(2/3)

No	適合 Level	登録番号	登録日	製品名	会社名
1	2	G1500072	'15-04-14	統合型臨床情報システム PrimeGaia PRM-7000	日本光電工業(株)
2	2	G1500082	'15-04-14	HL7ゲートウェイサーバ(G) PRM-7010	日本光電工業(株)
3	2	G1500092	'15-04-14	クリニカルネットワークパッケージ CAP-2000	日本光電工業(株)
4	2	G1500102	'15-04-14	スタンドアロン麻酔記録装置 CAP-0500	日本光電工業(株)
5	2	G1500112	'15-04-14	ゲートウェイサーバプログラム QP-98062	日本光電工業(株)
6	2	G1500122	'15-04-14	診断情報システム PrimeVitaPlus PRM-4000	日本光電工業(株)
7	2	G1500132	'15-04-14	MFERステーション CRT-1000	日本光電工業(株)
8	2	G1500142	'15-04-14	心電図変換ゲートウェイ ECS-1000	日本光電工業(株)
9	2	G1500152	'15-04-14	脳神経情報システム CNN-2000	日本光電工業(株)
10	2	G1500162	'15-04-20	Live(ライブ)	(株)ライブワークス
11	2	G1500172	'15-06-09	総合健診システム HealthcareAgent MHC-9000 シリーズ	東芝メディカルシステムズ(株)
12	2	G1500192	'15-05-27	精神科病院向け電子カルテ MEDIC EHR/P	京セラ丸善システムインテグレーション(株)
13	2	G1500212	'15-07-09	NLX-PC	アイホン(株)
14	2	G1500232	'15-07-03	ナースコール/生体情報モニタ連動 HL7ゲートウェイ	(株)ケアコム
15	2	G1500252	'15-09-17	東芝 医用画像情報システムRapidEyeCore	東芝メディカルシステムズ(株)
16	2	G1500262	'15-09-17	東芝 循環器・超音波動画像ネットワークシステム CardioAgent	東芝メディカルシステムズ(株)
17	2	G1500272	'15-10-02	東芝 画像診断部門情報システム RapidEyeAgent ERIS-5000	東芝メディカルシステムズ(株)
18	2	G1500282	'15-08-21	統合検査レポート管理システム SYNAPSE Result Manager	富士フイルムメディカル(株)
19	2	G1500322	'15-12-01	眼振検査支援プログラム C-Nys	(株)ファインデックス

# GHS:登録製品(3/3)

No	適合 Level	登録番号	登録日	製品名	会社名
20	2	G1500342	'15-10-05	画像情報管理システムSYNAPSE (Enterprise-PACS/EX/Lite/Mini-X)	富士フイルムメディカル(株)
21	2	G1500352	'15-10-05	SYNAPSE SCOPE	富士フイルムメディカル(株)
22	2	G1500362	'15-10-05	SYNAPSE ポータブルディスクシステム PD-S	富士フイルムメディカル(株)
23	2	G1500372	'15-10-05	地域医療連携サービス C@RNA Connect	富士フイルムメディカル(株)
24	2	G1500382	'15-10-05	SYNAPSE 検診所見入力オプション MC-R	富士フイルムメディカル(株)
25	2	G1500392	'15-10-05	循環器画像/レポート管理システム SYNAPSE CardioVascular	富士フイルムメディカル(株)
26	2	G1500402	'15-10-30	Medicom-HRⅢシリーズ(Medicom-HRⅢ, Medicom-HRkⅢ)	パナソニック ヘルスケア(株)
27	2	G1600012	'16-01-20	MegaOakHR	日本電気(株)
28	2	G1600022	'16-02-01	MI・RA・Is/PXシリーズ(PX・TYPE X・TYPE M・ TYPE C)	(株)シーエスアイ
29	2	G1600032	'16-01-20	輸血管理システム「N-BiT」	(株)エヌデーデー
30	2	G1600042	'16-01-27	脳波表示ソフトウェア QP-112N	日本光電工業(株)
31	2	G1600052	'16-06-24	Wing(ウイング)	(株)ライブワークス
32	2	G1600082	'16-08-30	Solemio ENDO Ver.4	オリンパスメディカルシステムズ(株)
33	2	G1700012	'17-01-10	HOPE LifeMarkシリーズ	富士通(株)
34	2	G1700022	'17-01-10	HOPE EGMAIN-GX	富士通(株)
35	2	G1700032	'17-01-10	HOPE EGMAIN-LX	富士通(株)
36	2	G1700042	'17-01-10	HOPE Cloud Chart	富士通(株)
37	2	G1700052	'17-01-10	HumanBridgeシリーズ	富士通(株)
38	2	G1700062	'17-01-27	在宅メディケアクラウド	コニカミノルタ(株)



## HEALTH SOFTWARE

特集2

### ヘルスソフトウェアの正しい選び方

医療現場で安心して利用するために

#### Contents

Introduction —ヘルスソフトウェアの安全利用に向けて  
ヘルスソフトウェアを取り巻く行政・産業界の動向と  
今後の展望  
妙中義之 ..... 2

User's Eye —医療者の視点  
医療現場が考えるソフトウェアの安全利用  
横井英人 ..... 4

Vendor's Commitment —ソフトウェアベンダーの取り組み姿勢  
アイホン, NEC, 亀田医療情報, 日本光電工業 ..... 6

Vendor's Action —産業界の活動  
ヘルスソフトウェアの安全利用に向けた産業界の活動  
吉澤哲也 ..... 8

Special Talk —ヘルスソフトウェアの正しい選び方  
安全・安心なヘルスソフトウェアの普及に向け、  
ユーザーとベンダーは何をすべきか  
楠岡英雄氏, 妙中義之氏, 佐野明氏, 土居篤博氏 ..... 10

一般社団法人ヘルスソフトウ



## ヘルスソフトウェアの ユーザへの訴求を強化

### Contents

Introduction —ヘルスソフトウェアの安全利用に向けて  
ヘルスソフトウェアを取り巻く行政・産業界の動向と  
今後の展望  
妙中義之 ..... 2

User's Eye —医療者の視点  
医療現場が考えるソフトウェアの安全利用  
横井英人 ..... 4


Vendor's Commitment —ソフトウェアベンダーの取り組み姿勢  
アイホン, NEC, 亀田医療情報, 日本光電工業 ..... 6

Vendor's Action —産業界の活動  
ヘルスソフトウェアの安全利用に向けた産業界の活動  
吉澤哲也 ..... 8

Special Talk —ヘルスソフトウェアの正しい選び方  
安全・安心なヘルスソフトウェアの普及に向け、  
ユーザーとベンダーは何をすべきか  
楠岡英雄氏, 妙中義之氏, 佐野明氏, 土居篤博氏 ..... 10

ITvision記事掲載2017/2

# 医療情報の利活用

		<b>2017.1</b> <b>No.203</b>
<h2>会 報</h2>		
<b>目 次</b>		
2017年 年頭所感（創立50周年を迎えて）	会長 小松研一	1
<b>論 風</b>		
第76回日本医学放射線学会総会を開催するにあたって	角谷眞澄	3
<b>特別寄稿</b>		
米国における人工知能（AI）技術の動向—医療・ヘルスケア分野を中心に—	八山幸司	5
<b>トピックス</b>		
COCIR 環境委員長との環境規制情報交換会報告	法規・安全部会 環境委員会	8
医用電気機器の安全通則 IEC60601-1 の第3版以降の動向について	標準化部会	12
医療情報利活用の動向と取り組み	医用画像システム部会	16
DIITA の活動について（IMDRF ブラジリア会議、フロリアノポリス会議等）	国際委員会	23
第6回「JIRA 画像医療システム産業研究会」開催報告	中小企業・IT産業振興委員会 教育・研修専門委員会	27
2016年度画像医療システムの国内市場動向（2016年度第2四半期、上期）	調査・研究委員会	30
<b>解 説</b>		
平成28年度診療報酬改定		
<b>人</b>		
JBC オールジャパンで神興を担ぐ		
重粒子線がん治療と共に歩んだこれまでとこれから		
ねこと写真		
<b>会員情報</b>		
1 新理事紹介		
2 新会員会社紹介		
3 JIRA 会員一覧		
<b>編集後記</b>		
<small>（組織名および役職名は、2016年末時点で表示）</small>		

## 医療情報の利活用と JIRA/システム部会の取り組み

<b>目 次</b>	
2017年 年頭所感（創立50周年を迎えて）	会長 小松研一 1
<b>論 風</b>	
第76回日本医学放射線学会総会を開催するにあたって	角谷眞澄 3
<b>特別寄稿</b>	
米国における人工知能（AI）技術の動向—医療・ヘルスケア分野を中心に—	八山幸司 5
<b>トピックス</b>	
COCIR 環境委員長との環境規制情報交換会報告	法規・安全部会 環境委員会 8
医用電気機器の安全通則 IEC60601-1 の第3版以降の動向について	標準化部会 12
医療情報利活用の動向と取り組み	医用画像システム部会 16
DIITA の活動について（IMDRF ブラジリア会議、フロリアノポリス会議等）	国際委員会 23
第6回「JIRA 画像医療システム産業研究会」開催報告	中小企業・IT産業振興委員会 教育・研修専門委員会 27
2016年度画像医療システムの国内市場動向（2016年度第2四半期、上期）	調査・研究委員会 30



# 医療情報の利活用

## 「医療情報利活用の動向と取り組み」

### 1. はじめに

医療情報利活用について、行政の政策・施策の動向、JIRA医用画像システム部会での取組課題等について概説する。

### 2. 概況

#### 2-1. 国の動き

#### 2-2. JIRAの取組 (JIRA、システム部会)

### 3. 課題とトピックス

#### 3-1. 課題

医療情報利活用に関する課題は標準化や法令・ガイドライン等の環境整備、医療情報のレジストリ構築・活用に整理される。

#### 3-2. 標準化、法令・ガイドライン等の環境整備について

##### (1) 標準化

##### (2) 医療用ソフトウェアの取り扱い

##### (3) セキュリティ

##### (4) 改正個人情報保護法

#### 3-3. レジストリの構築・活用

##### (1) 国等の主導・支援で進めるもの

① NDB (レセプト情報・特定健診等情報 データベース)

② CINCIN (クリニカルイノベーションネットワーク)

##### (2) その他ビッグデータの利活用など民間が主体で進めるもの

① 人工知能 (AI)

② ロボット技術

### 4. 最後に

- ① 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4.4版」
  - ・厚労省医療情報ネットワーク基盤検討会に委員を派遣
  - ・同作業班にメンバー参画

【パブコメ:1/30~3/1】
  
- ② 厚労省通知「医療機器におけるサイバーセキュリティの確保について」(2015/4)に対応したガイダンス策定について
  - ・3Jの検討チームを設け、ガイダンスを検討、
  - ・医機連WGを経てAMED研究班へ提案
  - ・AMED研究班より「医療機器の単体プログラムの薬事規制のあり方に関する研究、平成27年度委託研究開発成果報告書」が2016年3月付けで出され、「サイバーセキュリティの確保のためのガイドライン検討」の検討結果および付属資料として「医療機器のサイバーセキュリティの確保について(ガイダンス)案」が報告された。
  - ・その後、動きなし。
    - パブコメを経て2017年度内に発出ではないかと予想される。

⇒パブコメが出たら改めて内容を確認して対応を検討する。

# 医療情報の利活用:改正個人情報保護法関係

①「個人情報の保護に関する法律施行令の一部を改正する政令(平成28年政令第324号)」  
「個人情報の保護に関する法律施行規則(平成28年個人情報保護委員会規則第3号)」  
【公布日:2016年10月05日、施行日:2017年5月30日】

② 個人情報保護法ガイドライン(全分野共通4件)

1)個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)

2)個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(外国にある第三者への提供編)

3)個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(第三者提供時の確認・記録義務編)

4)個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(匿名加工情報編)

【公布日:2016年11月30日】

③医療介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いに関するガイダンス(医療分野)  
【パブコメ:1/31~3/1】

④代理機関(仮称)制度について

次世代医療ICT基盤協議会の「医療情報取扱制度調整ワーキンググループとりまとめ」として、医療情報匿名加工・提供機関(仮称)制度についての検討結果が公開された。

【パブコメ:12/27~1/26】 現在法案化中。

⑤国の医学研究系倫理指針等の改正に関する倫理指針(3件)

・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」

・「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」

・「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」

【パブコメ終了。合同会議を経て公布予定】

⇒内容の理解を深め、医用画像システムに関連するパブコメとQ&Aを検討中。

# 医療情報の利活用：NDBオープンデータ

平成 28 年 10 月 厚生労働省保険局医療介護連携政策課 保険システム高度化推進室

「レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)」を公開。  
 利用者の目的に応じて様々な用途に活用できるよう、集計そのものに関わる意図をできるだけ排し、単純な集計表として示すことを目指した。本 NDB オープンデータが、国民の健康や医療に関する理解を深める一助となればと考えている。

第 1 部 【解説編】：NDB オープンデータに関する説明や集計表の一部をグラフ化した  
 第 2 部 【データ編】：集計表。データを利用する方々が関心に従い加工・分析可能。

## 第1部【解説編】

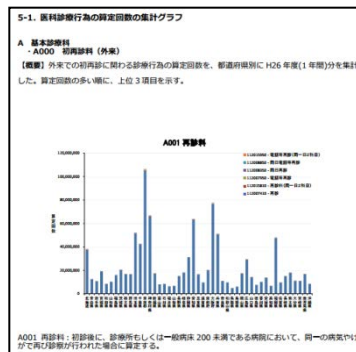
第 1 回  
NDBオープンデータ  
【解説編】



平成 28 年 10 月  
厚生労働省保険局医療介護連携政策課  
保険システム高度化推進室

第 1 回 NDB オープンデータ 【解説編】 (目次)

- 第 1 章 ● NDB オープンデータとは  
NDB オープンデータの概要 (調査分析WG) .....4
- 第 2 章 ● 関係機関から  
NDB オープンデータの公開に寄せて .....13
- 第 3 章 ● NDB の第三者提供の現状  
NDB の第三者提供の現状と実態 (調査分析WG) .....15
- 第 4 章 ● データ抽出・集計の概要  
4-1. NDB オープンデータの集計対象 .....19  
4-2. NDB オープンデータの公表データ .....19  
4-3. NDB オープンデータの集計対象項目数 .....22  
4-4. 最小集計単位の原則 .....23  
4-5. NDB オープンデータの集計条件 .....24  
4-6. NDB オープンデータの抽出レコード .....27  
4-7. 用語の解説 .....31
- 第 5 章 ● 診療行為の判定回数等の集計グラフ (抜粋)  
5-1. 医療診療行為の判定回数等の集計グラフ .....33  
5-2. 歯科診療の提供件数の集計グラフ .....174  
5-3. 特定健診の集計グラフ .....176



## 第2部【データ編】

診療年月：H26年04月～H27年03月

分類	分類名称	診療行為	点数	総計	集計	1～3歳	4～12歳	13～17歳
0100	010001	01000101 歯科診療(イ) 一般歯科	130	373,154	1,220	1,028	-	-
		01000102 歯科診療(ロ) 小児歯科	36	83,128	153,729	153,729	883	-
		01000103 歯科診療(ハ) 小児歯科	41	4,514,148	201,034	756,110	2,318	-
		01000104 歯科診療(ニ) 小児歯科	36	46,739	513	627	-	-
		01000105 歯科診療(ホ) 小児歯科	40	181,971	233	188	-	-
		01000106 歯科診療(ヘ) 小児歯科	22	879,782	7,864	3,662	2	-
		01000107 歯科診療(コ) 小児歯科	40	1,874	132	-	-	-
		01000108 歯科診療(カ) 小児歯科	22	857	-	-	-	-
		01000109 歯科診療(キ) 小児歯科	36	1,687	-	-	-	-
		01000110 歯科診療(ク) 小児歯科	36	596,868	4,149	3,653	6	-
		01000111 歯科診療(ケ) 小児歯科	40	249,797	1,134	6,739	17	-
		01000112 歯科診療(コ) 小児歯科	36	5,133	179	164	-	-
		01000113 歯科診療(セ) 小児歯科	22	89,389	399	19	-	-
01000114 歯科診療(ソ) 小児歯科	40	1,817	132	9	-	-		
01000115 歯科診療(タ) 小児歯科	22	1,893	-	-	-	-		
01000116 歯科診療(チ) 小児歯科	36	2,123	-	-	-	-		
01000117 歯科診療(リ) 小児歯科	41	12,016	36	65	-	-		
01000118 歯科診療(ル) 小児歯科	22	6,483	25	27	-	-		
01000119 歯科診療(レ) 小児歯科	36	13,858	23	21	-	-		
01000120 歯科診療(ロ) 小児歯科	399	1,817,864	-	-	-	-		
01000121 歯科診療(ハ) 小児歯科	200	79,058	-	-	-	-		
01000122 歯科診療(ニ) 小児歯科	160	829	-	-	-	-		
01000123 歯科診療(ヘ) 小児歯科	60	6,626	41,750	23,138	138	-		
01000124 歯科診療(コ) 小児歯科	200	53,387	-	-	-	-		
01000125 歯科診療(セ) 小児歯科	144	147,157	79	78	-	-		
01000126 歯科診療(タ) 小児歯科	1,036	-	-	-	-	-		

診療年月：H26年04月～H27年03月

診療年月	診療科目	診療内容	診療回数	集計	集計	1～3歳	4～12歳	13～17歳
0100	010001	01000101 歯科診療(イ) 一般歯科	130	373,154	1,220	1,028	-	-
		01000102 歯科診療(ロ) 小児歯科	36	83,128	153,729	153,729	883	-
		01000103 歯科診療(ハ) 小児歯科	41	4,514,148	201,034	756,110	2,318	-
		01000104 歯科診療(ニ) 小児歯科	36	46,739	513	627	-	-
		01000105 歯科診療(ホ) 小児歯科	40	181,971	233	188	-	-
		01000106 歯科診療(ヘ) 小児歯科	22	879,782	7,864	3,662	2	-
		01000107 歯科診療(コ) 小児歯科	40	1,874	132	-	-	-
		01000108 歯科診療(カ) 小児歯科	22	857	-	-	-	-
		01000109 歯科診療(キ) 小児歯科	36	1,687	-	-	-	-
		01000110 歯科診療(ク) 小児歯科	36	596,868	4,149	3,653	6	-
		01000111 歯科診療(ケ) 小児歯科	40	249,797	1,134	6,739	17	-
		01000112 歯科診療(コ) 小児歯科	36	5,133	179	164	-	-
		01000113 歯科診療(セ) 小児歯科	22	89,389	399	19	-	-
01000114 歯科診療(ソ) 小児歯科	40	1,817	132	9	-	-		
01000115 歯科診療(タ) 小児歯科	22	1,893	-	-	-	-		
01000116 歯科診療(チ) 小児歯科	36	2,123	-	-	-	-		
01000117 歯科診療(リ) 小児歯科	41	12,016	36	65	-	-		
01000118 歯科診療(ル) 小児歯科	22	6,483	25	27	-	-		
01000119 歯科診療(レ) 小児歯科	36	13,858	23	21	-	-		
01000120 歯科診療(ロ) 小児歯科	399	1,817,864	-	-	-	-		
01000121 歯科診療(ハ) 小児歯科	200	79,058	-	-	-	-		
01000122 歯科診療(ニ) 小児歯科	160	829	-	-	-	-		
01000123 歯科診療(ヘ) 小児歯科	60	6,626	41,750	23,138	138	-		
01000124 歯科診療(コ) 小児歯科	200	53,387	-	-	-	-		
01000125 歯科診療(セ) 小児歯科	144	147,157	79	78	-	-		
01000126 歯科診療(タ) 小児歯科	1,036	-	-	-	-	-		

# 医療情報の利活用:CIN

## 今後構築する各国立高度専門医療研究センター(NC)の疾患登録システム

NC	対象領域(例) ※対象領域は変更される可能性あり	主な登録項目	参加施設数	登録目標及び期間
国立がん研究センター	希少がん(軟部肉腫、脳腫瘍、皮膚腫瘍、小児腫瘍)	登録可能(患者紹介可能)な治験情報	56施設 ※JCOG(日本臨床腫瘍研究グループ)参加施設	100～150人/年 (治験への組入れ人数)
国立循環器病研究センター	成人先天性心疾患、脳卒中、心不全、胎児不整脈	年齢、性別、登録(主)疾患名、入退院日、重症度、検査値、治療歴、併発疾患名、投薬内容、ステージ、家族歴、治験情報提供の有無、生活習慣等	計100施設程度 ※成人先天性心疾患ネットワーク、THAWS試験、胎児不整脈連携病院等	2,000～3,000人/年
国立精神・神経医療研究センター	精神疾患、パーキンソン病、筋ジストロフィーを含む遺伝性筋疾患、多発性硬化症、知的障害		31施設 ※精神疾患治験ネットワーク、大学病院、NC等	1.5万人 (2018年度末)
国立国際医療研究センター	糖尿病		200施設 ※最終的にはSS-MIX2を導入している全ての病院を対象	100万人 (2019年度末)
国立成育医療研究センター	小児分野の希少疾患、難病等		33施設 ※小児治験ネットワーク加盟病院	3万人
国立長寿医療研究センター	MCI(軽度認知障害)サルコペニア		22施設 ※MCI/サルコペニア診療連携病院	4,000人以上

4

# 医療情報の利活用: AI

## 保健医療分野におけるAI活用推進懇談会

### 懇談会における検討の進め方(案)

資料2



## 医用画像システム部会の今後の展開

技術の視点

セキュリティ委員会

DICOM委員会

モニタ診断システム委員会

画像診断レポート委員会

システム教育委員会

新画像医療IT産業推進WG

安全・安心

標準・効率

新たな価値

周知・教育・協業

企業・産業発展

御清聴 ありがとうございました。